

社会学研究科の教員の養成の目標

<社会学研究科 社会学専攻・社会システムデザイン専攻・メディア専攻>

社会学研究科 各専攻（社会学、社会システムデザイン、メディア）では、基礎となる関西大学社会学部社会学科各専攻（社会学、社会システムデザイン、メディア）において、理論と実際を学び、専門性と総合力をバランスよく身に付け、その学びの中で得た「考える力」、社会的伝統の尊重から一歩先に進む創造力、伝統への深い理解と洞察に基づきながら果敢に新しい社会領域に挑む力、「考動力」を基盤として問題を解決し、かつ新たな価値を創出し、現実社会の中で「生きていく力」をそれぞれ発揮し、社会に貢献できると判断された学士（社会学）の学位授与者を対象に教員養成を行う。具体的には、社会科学と人間科学の学際的領域における理論的・実証的研究と、これに基づく高度な専門的知識と研究能力を備えた人材及び専門性を有する職業人の育成という教育目標のもと、（１）広い視野に立った学識を得て、専門分野の基礎的な研究能力、あるいは高度の専門性を要する職業等に必要な能力、（２）社会における多様なものの見方や価値観を認め、他者の意見を傾聴するだけにとどまらず、自らの考えを発信することができる能力、また社会の事象や人間の行動を冷静かつ的確に観察して把握したうえで、考動力を基盤として課題を発見し、その解決方法を提示することができる能力、（３）周囲の人間や社会情勢に対して知的好奇心と建設的批判精神を持つことができる姿勢、社会の伝統を理解し尊重しつつも、新しい社会を築こうとする主体的な考動力、身近な領域にとどまらず、より大きな社会、世界を視野にふくめてものごとを考える態度と習慣をそれぞれ身に付けた高度専門職業人としての教員を養成する。また修士の学位にふさわしい、柔軟かつ応用力を伴った教科及び生徒指導の実践的指導力により、学校現場で対峙するさまざまな事象や課題の解決にその力量を発揮し、社会学に関する専門的な学術活動における積極的な対人コミュニケーション等を通じて育まれた豊かな人間性、使命感、責任感、教育的愛情により、学校経営・学級経営等を力強く牽引していくことのできる、将来の管理職候補としての基盤となる資質・素養を育成する。

(社会学研究科 社会学専攻 中専修免 社会)

理論と実践の両側面を視野に入れつつ、生産的な展望を持ちながら具体的な問題解決にあたることができる人材の育成を前提に、複雑さと不確実性に覆われ混迷する現代社会を前に、社会学的な見方の有効性と重要性が高まりつつある中、現代人が埋め込まれている「関わりのシステム」と「意味のシステム」を複眼的にとらえながら、関心領域や考察対象を社会学的に記述・説明する分析力と、問題発見と課題解決に資する感性と思考力を培うカリキュラムを編成している。中学校専修免許「社会」の教職課程では、これらの学びの中で、修士の学位にふさわしい高度な専門性開発と柔軟な応用力をもって、(1)わが国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料からさまざまな情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする、(2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う、(3)社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養されるわが国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めるなど、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成できる質の高い高度な教科指導力を有する教員を養成する。

(社会学研究科 社会学専攻 高専修免 公民)

理論と実践の両側面を視野に入れつつ、生産的な展望を持ちながら具体的な問題解決にあたることができる人材の育成を前提に、複雑さと不確実性に覆われ混迷する現代社会を前に、社会学的な見方の有効性と重要性が高まりつつある中、現代人が埋め込まれている「関わりのシステム」と「意味のシステム」を複眼的にとらえながら、関心領域や考察対象を社会学的に記述・説明する分析力と、問題発見と課題解決に資する感性と思考力を培うカリキュラムを編成している。高等学校専修免許「公民」の教職課程では、これらの学びの中で、修士の学位にふさわしい高度な専門性開発と柔軟な応用力をもって、(1)選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料からさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする、(2)現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う、(3)よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めるなど、社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成できる質の高い高度な教科指導力を有する教員を養成する。

(社会学研究科 社会システムデザイン専攻 中専修免 社会)

理論と実践の両側面を視野に入れつつ、生産的な展望を持ちながら具体的な問題解決にあたることができる人材の育成を前提に、現代社会を解読してより良い社会のデザインを考えることを目指し、社会学、経済学、経営学、技術論などの幅広い専門領域や複合的な視点から、グローバル化し絶えず変化する複雑な現代社会のメカニズムを分析し、新しい社会の設計を提案する実践的な力を培うカリキュラムを編成している。中学校専修免許「社会」の教職課程では、これらの学びの中で、修士の学位にふさわしい高度な専門性開発と柔軟な応用力をもって、(1)わが国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料からさまざまな情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする、(2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う、(3)社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養されるわが国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めるなど、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成できる質の高い高度な教科指導力を有する教員を養成する。

(社会学研究科 社会システムデザイン専攻 高専修免 公民)

理論と実践の両側面を視野に入れつつ、生産的な展望を持ちながら具体的な問題解決にあたることができる人材の育成を前提に、現代社会を解読してより良い社会のデザインを考えることを目指し、社会学、経済学、経営学、技術論などの幅広い専門領域や複合的な視点から、グローバル化し絶えず変化する複雑な現代社会のメカニズムを分析し、新しい社会の設計を提案する実践的な力を培うカリキュラムを編成している。高等学校専修免許「公民」の教職課程では、これらの学びの中で、修士の学位にふさわしい高度な専門性開発と柔軟な応用力をもって、(1)選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料からさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする、(2)現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う、(3)よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めるなど、社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成できる質の高い高度な教科指導力を有する教員を養成する。

(社会学研究科 メディア専攻 中専修免 社会)

理論と実践の両側面を視野に入れつつ、生産的な展望を持ちながら具体的な問題解決にあたることができる人材の育成を前提に、現代社会において重要な役割を果たしているメディア環境が急速に変わりつつある現在、メディアと社会、メディアと文化、メディアと人間の間を関係性を解明するという今日的で基本的な課題の多角的かつ本質的な理解を目指し、個々の研究能力を高めるとともに調査・制作のスキルを培うカリキュラムを編成している。中学校専修免許「社会」の教職課程では、これらの学びの中で、修士の学位にふさわしい高度な専門性開発と柔軟な応用力をもって、(1)わが国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料からさまざまな情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする、(2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う、(3)社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養されるわが国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めるなど、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成できる質の高い高度な教科指導力を有する教員を養成する。

(社会学研究科 メディア専攻 高専修免 公民)

理論と実践の両側面を視野に入れつつ、生産的な展望を持ちながら具体的な問題解決にあたることができる人材の育成を前提に、現代社会において重要な役割を果たしているメディア環境が急速に変わりつつある現在、メディアと社会、メディアと文化、メディアと人間の関係を解明するという今日的で基本的な課題の多角的かつ本質的な理解を目指し、個々の研究能力を高めるとともに調査・制作のスキルを培うカリキュラムを編成している。高等学校専修免許「公民」の教職課程では、これらの学びの中で、修士の学位にふさわしい高度な専門性開発と柔軟な応用力をもって、(1)選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料からさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする、(2)現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う、(3)よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めるなど、社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成できる質の高い高度な教科指導力を有する教員を養成する。